

# ワーク・ライフ・バランス取組状況調査 結果のポイント

## 1. 女性の活躍推進 (概要版 P1～、報告書 P10～)

○女性管理職のいる事業所割合は、57.6%で調査開始以来、最高。  
(17年度 44.8% ⇒ 57.6% (+12.8 P))

○今後の女性の活用方針について、「女性に着目した活用拡大」が増加。  
・「積極的に女性を活用」と「徐々に女性の活躍の場を拡大」の合計  
(25年度 24.1% ⇒ 32.1% (+8.0P))

## 2. シニア社員が活躍できる職場づくり<新規> (概要版 P2、報告書 P25～)

○86.6%の事業所でシニア社員の活躍できる職場づくりに取組んでいる。  
・知識、経験などを活用できる配置、能力に応じた人事評価・賃金制度の見直し 等

## 3. 職場におけるハラスメント<新規> (概要版 P3、報告書 P32～)

○パワーハラスメントについて、「相談や苦情がある」事業所の割合は、約2割。  
・パワーハラスメント 18.2%、セクシャルハラスメント 7.7%、マタニティーハラスメント 0.8%

○相談窓口の設置の割合は、従業員規模が小さい事業所ほど低い傾向。  
・30人以下 48.2%、101～200人 73.9%、301人以上 93.7%

## 4. 育児休業の取得状況 (概要版 P4、報告書 P52～)

○男性の育児休業取得率は、5.2%で調査開始以来、最高。  
(17年度 0.9% ⇒ 5.2% (+4.3 P))

## 5. 男性の育児休業に対する考え方 (概要版 P4、報告書 P55～)

○19年度と比較して育児休業の取得促進を考えている事業所の割合は、増加している一方で、「限られた人員の中で、男性の育児休業取得は難しい」と考える事業所は、62.7%で、調査開始以来、最高。  
(17年度 54.3% ⇒ 62.7% (+8.4 P))

## 6. 介護休業、介護休暇の取得状況<新規> (概要版 P5、報告書 P57～)

○介護休業、介護休暇の取得者のいる事業所の割合は、1割未満。  
・介護休業：従業員が取得した事業所の割合 (正規 5.9%、非正規 1.1%)  
・介護休暇：従業員が取得した事業所の割合 (正規 6.2%、非正規 2.0%)  
※介護休業：通算 93 日までの休業制度、介護休暇：年 5 日又は 10 日の休暇制度

## 7. ワーク・ライフ・バランスの推進 (概要版 P6、報告書 P83～)

○ワーク・ライフ・バランスに積極的な事業所の割合は 74.0%で、調査開始以来、最高。  
(17年度 60.0% ⇒ 74.0% (+14.0 P))

## 8. 県の事業の認知状況 (概要版 P7、報告書 P87～)

○県のワーク・ライフ・バランス推進事業の認知度は、2割台にとどまり、従業員規模が小さい事業所ほど認知状況が低い傾向。  
・「“社員いきいき！元気な会社” 宣言企業」の認知状況 24.4%  
(30人以下 10.1%、101～200人 27.7%、301人以上 33.0%)